

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成21年1月15日 (2009.1.15)

【公開番号】特開2006-175012(P2006-175012A)
 【公開日】平成18年7月6日 (2006.7.6)
 【年通号数】公開・登録公報2006-026
 【出願番号】特願2004-371175(P2004-371175)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 1 A

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】
 【提出日】平成20年11月17日 (2008.11.17)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

遊技媒体が打ち込まれる遊技領域内に配置され前記遊技媒体が進入可能とされた始動口と、

前記始動口に進入した遊技媒体を検出する始動検出手段と、

前記始動口よりも上方に配置された役物と、

前記役物内に遊技媒体が進入可能なように所定の開閉動作を行いうる可動部材と、

前記役物内に進入した遊技媒体を検出する通過検出手段と、

前記役物内の左右方向の略中央に配置され、演出画像が表示される表示手段と、

前記表示手段の左右のうちいずれか一の側に配置され、前記遊技媒体が受入れ可能な大当り口と、

前記大当り口に前記遊技媒体が受け入れられると遊技者に有利な有利遊技状態を発生させる有利遊技状態発生手段と、

前記大当り口との間で前記表示手段を左右から挟むように配置され、前記役物内に進入した遊技媒体が受け入れられたとしても、前記有利遊技状態が発生しないハズレ口と、

前記通過検出手段により検出された遊技媒体が左右方向に転動可能な転動面を有し、前記大当り口および前記ハズレ口の上流側において、左右方向への回動により該遊技媒体を左方向と右方向とに揺動させたのちに、該大当り口の側および該ハズレ口の側のうちいずれかの側に放出しうるガイド部材を有する揺動実現手段と、

前記揺動実現手段によって揺動する遊技媒体が前記大当り口の側および前記ハズレ口の側のうちいずれから放出されるかについて予測示唆しうる予測示唆手段と、

を備え、

前記予測示唆手段は、

前記始動検出手段により遊技媒体が検出されたときの前記ガイド部材の回動状況に基づいて、前記左方向と右方向とに揺動する遊技媒体が前記大当り口の側から放出される可能性を予測し、前記左方向と右方向とに揺動する遊技媒体が該大当り口の側から放出される場合にはその旨を示す特別始動演出画像を前記表示手段に表示する始動予測示唆手段と

前記通過検出手段により遊技媒体が検出されたときの前記ガイド部材の回動状況に基づいて、前記特別始動演出画像が表示されたにもかかわらず、前記左方向と右方向とに揺動する遊技媒体が前記大当り口の側から放出されないと予測された場合には、前記特別始動演出画像から、前記遊技媒体が前記ハズレ口の側から放出される旨を示す通常通過演出画像に切り替えて表示する通過予測示唆手段と、

を有することによって、前記始動口に遊技媒体が進入した時点では前記遊技媒体が前記大当り口の側から放出されうると予測示唆されたにもかかわらず、前記役物内に遊技媒体が進入した時点で前記遊技媒体が前記ハズレ口の側から放出されると予測示唆された場合であっても、前記遊技媒体が放出される方向が補正されて予測示唆されるようにしたことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記揺動実現手段は、前記ガイド部材を左右方向に回動させる駆動手段を有しており、前記駆動手段は、前記ガイド部材を、

前記左右方向の端部のうちいずれかの端部が該一の端部とは異なる他の端部よりも低くなるように前記転動面に傾斜を持たせることによって、前記転動面上の遊技媒体を該一の端部に向かって転動させる第 1 動作態様と、前記一の端部が前記他の端部よりも高くなるように前記転動面に傾斜を持たせることによって、前記転動面上の遊技媒体を該他の端部に向かって転動させる第 2 動作態様と、の間で揺動させるとともに、

前記第 1 動作態様において持たせられた前記傾斜によって前記一方の端部に向かって転動する遊技媒体が該一方の端部から放出される前に、該遊技媒体を逆方向に転動させて前記他方の端部から放出されるように揺動させうるものである

ことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記ガイド部材の回動角度および回動方向を検出する動作状況検出手段をさらに備えており、

前記予測示唆手段は、

前記ガイド部材の回動状況としての前記動作状況検出手段によって検出された前記ガイド部材の回動角度および回動方向に基づいて、前記左方向と右方向とに揺動する遊技媒体が前記大当り口の側から放出されうるか否かを予測する

ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

請求項 1 に記載の遊技機は、遊技媒体が打ち込まれる遊技領域内に配置され前記遊技媒体が進入可能とされた始動口（第一始動入賞口 96、第二始動入賞口 97）と、前記始動口に進入した遊技媒体を検出する始動検出手段（始動口センサ 318）と、前記始動口よりも上方に配置された役物と、前記役物内に遊技媒体が進入可能なように所定の開閉動作を行いうる可動部材（可動片 456）と、前記役物内に進入した遊技媒体を検出する通過検出手段（カウントセンサ 319）と、前記役物内の左右方向の略中央に配置され、演出画像が表示される表示手段（演出表示装置 115）と、前記表示手段の左右のうちいずれかの側に配置され、前記遊技媒体が受入れ可能な大当り口（大当り入賞口 93）と、前記大当り口に前記遊技媒体が受け入れられると遊技者に有利な有利遊技状態を発生させる有利遊技状態発生手段と、前記大当り口との間で前記表示手段を左右から挟むように配置され、前記役物内に進入した遊技媒体が受け入れられたとしても、前記有利遊技状態が発生しないハズレ口（ハズレ入賞口 94）と、前記通過検出手段により検出された遊技媒体が左右方向に転動可能な転動面を有し、前記大当り口および前記ハズレ口の上流側において、左右方向への回動により該遊技媒体を左方向と右方向とに揺動させたのちに、該大当

り口の側および該ハズレ口の側のうちいずれかの側に放出しうるガイド部材（ガイド部材 491）を有する揺動実現手段（回動駆動手段 493 および回動検出部 499）と、前記揺動実現手段によって揺動する遊技媒体が前記大当り口の側および前記ハズレ口の側のうちいずれから放出されるかについて予測示唆しうる予測示唆手段（ステップ S 1902、ステップ S 1903、ステップ S 1905、ステップ S 2002、ステップ S 2004 およびステップ S 2005）と、を備え、前記予測示唆手段は、前記始動検出手段により遊技媒体が検出されたときの前記ガイド部材の回動状況に基づいて（ステップ S 1802）、前記左方向と右方向とに揺動する遊技媒体が前記大当り口の側から放出される可能性を予測し（ステップ S 1902、ステップ S 1903）、前記左方向と右方向とに揺動する遊技媒体が該大当り口の側から放出されうる場合にはその旨を示す特別始動演出画像（特別第二演出態様）を前記表示手段に表示する始動予測示唆手段（ステップ S 1905）と、前記通過検出手段により遊技媒体が検出されたときの前記ガイド部材の回動状況に基づいて（ステップ S 1804）、前記特別始動演出画像が表示されたにもかかわらず、前記左方向と右方向とに揺動する遊技媒体が前記大当り口の側から放出されないと予測された場合（ステップ S 2005 における NO）には、前記特別始動演出画像から、前記遊技媒体が前記ハズレ口の側から放出される旨を示す通常通過演出画像（第三演出態様）に切り替えて表示する通過予測示唆手段（ステップ S 2002）と、を有することによって、前記始動口に遊技媒体が進入した時点では前記遊技媒体が前記大当り口の側から放出されうると予測示唆されたにもかかわらず、前記役物内に遊技媒体が進入した時点で前記遊技媒体が前記ハズレ口の側から放出されると予測示唆された場合であっても、前記遊技媒体が放出される方向が補正されて予測示唆されるようにしたものである。

請求項 2 に記載の遊技機は、請求項 1 に記載の遊技機において、前記揺動実現手段は、前記ガイド部材を左右方向に回動させる駆動手段（回動駆動手段 493）を有しており、前記駆動手段は、前記ガイド部材を、前記左右方向の端部のうちいずれか一の端部が該一の端部とは異なる他の端部よりも低くなるように前記転動面に傾斜を持たせることによって、前記転動面上の遊技媒体を該一の端部に向かって転動させる第 1 動作態様（図 30（ア）、（ウ）、（オ）、（キ））と、前記一の端部が前記他の端部よりも高くなるように前記転動面に傾斜を持たせることによって、前記転動面上の遊技媒体を該他の端部に向かって転動させる第 2 動作態様（図 30（イ）、（エ）、（カ））と、の間で揺動させるとともに、前記第 1 動作態様において持たせられた前記傾斜によって前記一方の端部に向かって転動する遊技媒体が該一方の端部から放出される前に、該遊技媒体を逆方向に転動させて前記他方の端部から放出されるように揺動させうるものである。

請求項 3 に記載の遊技機は、請求項 1 または 2 に記載の遊技機において、前記ガイド部材の回動角度および回動方向を検出する動作状況検出手段（回動検出部 499）をさらに備えており、前記予測示唆手段は、前記ガイド部材の回動状況としての前記動作状況検出手段によって検出された前記ガイド部材の回動角度および回動方向に基づいて、前記左方向と右方向とに揺動する遊技媒体が前記大当り口の側から放出されうるか否かを予測するものである。